

*FirstGlobal* メッセージ

# siesta

2019.10月号 vol.196

発行元：〒540-0012

大阪府中央区谷町1-6-4

天満橋八千代ビル10階

(株)ファーストグローバルコンサルティング

代表取締役

戦略人事コンサルタント 品川典久

TEL 06-6910-3007 FAX 06-6910-3008

Email [shinagawa@1gc.jp](mailto:shinagawa@1gc.jp)

URL <http://www.1gc.jp>

## 今月のトピックス

### 超デカ盛りカツ丼

今回もまた野球ネタですが、ご容赦ください。先日夏の甲子園大会も大阪の履正社高校の初優勝で幕を閉じました。前号でも取り上げましたが、今後球数制限や休養日の見直しなどの議論は活発になりそうですね。ところで、その甲子園球場の近くに店を構える「大力食堂」の話題をニュースで見て、悲しくなりました。このお店は超デカ盛りカツ丼で有名な老舗です。実は私も昔、このお店に行った記憶があります。この大盛りカツ丼は店主の藤坂さんが「高校球児も気軽に来られて、少ない小遣いでも満腹になれるように」という思いで創業の1966年から作ったそうです。通常茶碗一杯が0.4合のごはんの量が、2.8合だそうです。その上に特大卵で溶いてとしたカツを乗せ、丼からあふれんばかりのボリュームです。ちなみに私はこの超デカ盛りカツ丼を食べに行ったのではなく、たまたま野球の試合の帰りに、近くにあって立ち寄っただけですが。この量で800円（当初は700円）だそうです。数ヵ月前に提供をやめたそうです。それは数年前から「大」を頼んでは、写真を撮るだけ撮って、半分以上残して帰る客が相次ぐようになったからだそうです。単に「SNS映え」の目的のために来店して、食べ切らずに残していくのだそうです。「お客さんのために」と老体にムチ打って、高校野球シーズンは毎日90kg近い米を洗い、100枚以上のカツを揚げてきましたが、その残飯は捨てるしかありませんから、もう情けなくなってしまったそうです。代金さえ支払えば、何をしてもよいのか？と情けなるお話です。本当に「大」を食べる目的で来店した客が「やめたんですか？」とビックリし、残念がるのだそう。私は食事をする際にそのごちそうの写真を撮ることはしませんし、撮る行為は嫌いです。話は飛躍しますが、こういう類の、人の気持ちがわからない人は潜在的にも増えているのでしょうか。蔓延するこういう人たちに対し、会社内などでも「気持ちは通じるだろう」はもう通用しない世の中ですね。明確に文書や文言で明確にしないと「気持ち」は伝えられませんね。悲しい世の中ですが。

## < next >

朝晩は幾分涼しくなってきましたが、まだまだ暑いですね。  
夏バテの症状は夏が終わってから出てきますので、くれぐれもご自愛ください。